



学校教育目標 「**おおいに学び、やさしく、まっすぐ伸びる**」児童の育成

～「知・徳・体のバランスのとれた児童」の育成～

笑顔あふれる大山っ子

有田町立大山小学校

学校だよりNo.21

令和8年3月18日発行

文責：校長 馬場 美奈



右上のQRコードを読み取っていただくと大山小学校ホームページからもご覧いただけます。



卒業おめでとう!! いままでありがとう!



本日、3月18日は、大山小学校第118回卒業証書授与式が行われ、43名の子ども達が小学校を巣立っていきました。別れを惜しむ涙のような雨がしとしととふる中での卒業式でした。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

コロナ禍に入学した子ども達でしたが、元気いっぱい友達との触れ合いを楽しみ、学習や行事など、小学校での生活を精いっぱい送ることができました。これも保護者の皆様、地域の皆様の支えがあったからこそだと思います。6年生は、卒業までの日々を支えてくださった方に感謝の気持ちを伝えることができたでしょうね。卒業生の中にも、在校生の中にも涙する子が見られました。温かい卒業式となりました。

練習風景→

練習の時から1年生もピシっとした姿勢で座り、在校生全員で立つときも、音もたてずに立っていました。

在校生みんなが、「卒業生のために!」と精いっぱい頑張っていました。



ピアノ伴奏も早い時期から練習しました。本番も見事に演奏できました。



たくさんさんの拍手に迎えられながらの入場

今年度より、証書授与を顔が少しでも見えるように横向きに変更しました。





在校生のお祝いの言葉と歌「きみとぼくのラララ」気持ちがこもった言葉と歌が響きました。とてもすてきな2部合唱でした。

6年生一人一人の声が響きました。気合が入った凛とした声でした。証書授与の返事も、お別れの言葉も、練習を重ねた成果を発揮していました！



雨の卒業式でしたが、今年もたくさんのご来賓の皆様にお祝いしていただきました。ありがとうございました。

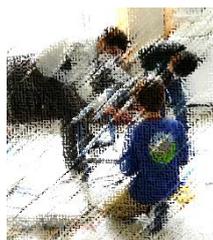


卒業生の歓送は雨のため室内で。今年もセラミーズの生演奏でした。



卒業を前に…

3月5日、卒業を前に、6年生が卒業プロジェクトの1つとして、古くなった「雑巾かけ」の修理・塗り替え作業を行いました。その雑巾かけは、ずいぶん前に卒業した児童の卒業制作だったようです。今回、6年生プロジェクトメンバーの発案で、雑巾かけをきれいにし、大事に使い続けることにしました。川内産業株式会社のご協力のもと、学校運営協議会委員でもいらっしゃる立部薫様、川内産業より2名の方にご来校いただき、ご指導いただきながら、修理をしたり、ペンキで色塗りをしたりしました。現在、さっそく各学年で使用しています。見違えるほどにきれいになりました。川内産業の皆様、6年生の皆さん、本当にありがとうございました!! これからも大切に使い続けます!



「学校ポスト」

大山小学校へ伝えたいこと、子ども達の様子から気付いたこと、お悩み、困っていること、学校だよりの感想、ご意見など、学校に伝えたい事があれば、お気軽にお聞かせください。地域で見られた良い行動や、子ども達が頑張っていると思われたこと等、何でも構いません。

皆様の声をお気軽にお寄せください。

